

LS-8800 をご利用の皆様

LS-8800 リリースノート(Ver.2.40)

2015年2月24日

白山工業株式会社

この度、LS-8800 のファームウェアがバージョンアップされました。今回のバージョンアップでは以下の機能変更ならびに不具合が修正されています。

今回のファームウェア変更は、2015年2月20日以前に出荷された全製品が対象となります。

- ファームウェア Ver.2.00～Ver.2.11 が搭載されている LS-8800 はアップデートする際に以下の点にご注意ください。

注) 通信ユニット TP-8800 を接続してご使用のお客様は、LS-8800 のアップデートを実施する際に必ず TP-8800 とのケーブルを外した状態で行ってください。外さずに行った場合、アップデートの途中で先に進まなくなり正常に動作しません。この不具合は Ver.2.20 にて修復されております。

- ファームウェア構成

各ファームウェアのリビジョン

Firmware : 3076 , FPGA : 2716 , I/O : 3017 , Bootloader : 2998

- 部品変更に伴うファームウェア修正

現在搭載されている GPS モジュールの生産終了のため、今後の生産品は新型の GPS モジュールが搭載されます。今回のファームウェアより新旧の GPS モジュールに対応したファームウェアへ修正されました。

注) アルマナックファイルのアップロード利用には一部制限があります。

旧 GPS モジュール → 新 GPS モジュール アルマナックファイル利用可能
新 GPS モジュール → 旧 GPS モジュール アルマナックファイル利用不可

- 機能変更

OPTION ポートを使用したリアルタイム波形出力の自動開始機能を追加しました。

リアルタイム波形の出力設定を FIX に設定にすると、測定開始時に自動でリアルタイム波形出力されるように変更しました。この変更によりボタン操作を行わずにリアルタイム波形を PC 上で確認することができます。

#リアルタイム出力方法はマニュアル第4版 P.47 にてご確認ください。

■ 修正事項

下記の2点について修正しました。

1. **OPTION** ポートから出力されるリアルタイム波形データがうるう秒に対応していない不具合を修正

【発生 FW バージョン】 Ver2.30

【現象】うるう秒挿入時に、リアルタイム波形出力はうるう秒に対応していないため、出力される波形データのタイムスタンプが1秒ずれとなっていました。

※SDカードの記録データはうるう秒に対応しています。

【対応】うるう秒が挿入されるように修正しました。

2. 設定により測位のログ(PPOSITION.LOG)が正常に記録動作しない不具合を修正

【発生 FW バージョン】 Ver2.30

【現象】(設定条件)時刻校正間隔: Interval, 測位設定 Auto モード

上記設定条件での正常な動作は、「起動時に1回だけ測位結果がログに記録される」ですが、Ver.2.30では上記設定で時刻校正毎に測位結果がログに記録されていました。

【対応】起動時に1回だけ測位結果がログに記録されるように修正しました。

■ 通信ユニット TP-8800 併用時に関わるプログラムの修正

※詳細は TP-8800 のファームウェア情報をご参照ください。

以上です。